

## 自己評価表

年齢毎のクラス担任による評価を集計

A、B、C、D の 4 段階評価とする。

A --- よくできた    B --- できた    C --- 一部改善が必要    D --- 改善が必要

	内 容	評 価				
		A	B	C	D	適用外 クラス
生命の 保持	1. 生理的欲求を満たし生活のリズムを整えることができたか	2	4			
	2. 安全に十分留意しながら行動範囲を広げることができていたか	1	5			
	3. 基本的な生活習慣が身に付くよう子どもや保護者に十分に指導することができていたか		2	4		
	4. 気温や体調の変化に留意し体調管理を行っていたか		6			
	改善案等 : 基本的な生活習慣の状況を保護者と共有しながら、年齢に応じた関わり方を、繰り返し伝えていく。					
情緒の 安定	1. 子どもの示す欲求を理解し、応えてあげることができたか		6			
	2. スキンシップをとり、安心を感じることでできる機会をとることができていたか	2	4			
	3. 自我の芽生えを理解し、それを受け止めることで情緒の安定をはかることができたか	1	5			
	4. 子どもたち一人ひとりの特性を生かし褒めることで自信が持てるような保育を心掛けていたか	1	5			
	改善案等 :					
健 康	1. 子どもの発育の個人差に配慮ができていたか	1	5			
	2. 身の回りの簡単なことは「自分でやってみよう」とする意欲を出させることができたか	1	5			
	3. おむつからパンツへの排泄の自立を計画的に進めることができたか	1	2			3, 4, 5 才
	4. 衣服の着脱、後始末などを自分でできるようになるように声掛けや配慮ができたか		5			0 才
	5. 基本的な生活に必要な活動（手洗い、うがい、排泄、所持品の始末等）を自発的にさせるような声掛けをしたか		4			0, 1 才
	6. 様々な動きを通して体を動かすことへの充実感や達成感を味わうことができるように配慮したか	1	5			
	改善案等 :					

	内 容	評 価				
		A	B	C	D	適用外 クラス
健康	1. 子どもの健康を意識して予防に努めたか	1	5			
	2. 感染症について理解し、保護者に伝えることができたか	1	5			
	3. 怪我に対するの予防や処置を十分に行うことができたか		6			
	改善案等 :					
人間関係	1. 子どもとの信頼関係を築き、安心できる空間をつくることができたか	3	3			
	2. 保育士や友達に興味を持ち自ら関わろうとするよう配慮できたか		6			
	3. 人とのつながりを大切にし、友達との信頼関係を深め仲良く遊べるような声掛けや配慮ができたか		5			0才
	4. 集団での遊びを通してルールを守ることや相手を思いやる気持ちをもてるよう指導できたか		4			0,2才
	5. 友達の意見に耳を傾け思いやりを持たせることができたか		3			0,1,2才
	改善案等 :					
環境	1. 安心できる人的・物的環境をつくり「感覚」の働きを豊かにするように配慮できたか		4	2		
	2. 遊具や玩具を工夫し子どもが興味を持って積極的に関わることができるようにしたか		5	1		
	3. 季節の歌や自然に触れながら四季を感じられるようにする	1	5			
	4. 季節の移り変わりを楽しみ、その違いや変化に気づくような声掛けができたか		5			0才
	改善案等 : 「感覚」の働きを豊かにする活動を計画(シラバスの作成)する。 年齢に応じた玩具を充実する。					
言葉	1. 語り掛けを多くし、子どもたちとの言葉を使った応答的関わりを十分に行ったか		6			
	2. 発達段階に応じた絵本や歌・言葉遊びを通して語数を増やし、話すことを楽しめるような関わりができたか		6			
	3. 発達段階に応じて自分の気持ちを言葉で伝えることができるよう、傾聴的態度で子どもの話を聞くことができたか		5	1		
	4. 友達や保育者の話を聞くことができるように指導することができたか		4	1		0才
	改善案等 : 保育士の傾聴スキルを向上させる。 低年齢児は人数の多い状態で保育士の話しを聴くことが困難である。 少人数で活動する環境を整える。					

	内 容	評 価				
		A	B	C	D	適用外 クラス
表  現	1. 日々の活動や戸外遊びを工夫し豊かな感性が育まれるようにすることができたか		5	1		
	2. リズム遊びを通して音楽表現を楽しむことができるように配慮したか	1	4	1		
	3. 喜びや楽しさ、悔しさ等の気持ちを全身を使って表現できる機会を設け共感することができたか	1	5			
	4. 楽器の演奏や踊りを通してリズム感が養われるようにしたか	1	3			0,1 才
	5. 描きたいもの、見たものを自由に描くことができるような声掛けや指導ができたか		5			0 才
	改善案等 : シラバスを作成する。					
食  育	1. いろいろな味に親しみ、喜んで食事ができるようにしたか		6			
	2. 食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けができたか	2	4			
	3. 食事のマナーを知り、守って楽しく食事をするような環境ができていたか		5	1		
	4. 栄養素について興味・関心を持ち、苦手な食べ物も食べられるように工夫ができたか	1	2			0,1,2 才
	5. 野菜を育てる過程を楽しみ、収穫の喜びを味わい、達成感を得ることができるようにしたか		3			0,1,2 才
	改善案等 : シラバス会議やブリーフィングにより、該当児に関わる対応や配慮事項を関係職員が把握する。					